



中世のロマン 史跡公園オープン

史跡として保存しつつ、郷土学習や市民の憩いの場として整備された国指定史跡河越館跡史跡公園が、11月15日オープンしました。

前日の14日、公園内と隣接する上戸小学校で竣工式。オープン当日は、館跡についてのオープニングガイドが行われ、約七百人の参加者にぎわいました。

雨模様での竣工式では、隣接する上戸小学校から6年生の石井昂平うへいくんと内野優花ゆうかさんが参加し、テープカットが行われました。「ここはよく虫取りや追いかけてっこをした場所。オープニングテープカットに参加できてうれしいです」と石井くん。「三年くらい前から発掘をしているのを見ていました。自分が通う学校の隣に館があったなんてびっくりしました」と内野さん。土塁や堀に囲まれたこの地は、約四百年間、武士の館などに利用されました。



熱心にメモを取る参加者

式典では、児童による演奏、



竣工式のアトラクションのひとつ「鯨井の万作」

地元自治会の歌と踊りが披露され、地域の皆さんと共に開園を祝いました。

晴天に恵まれた翌日。学芸員によるオープニングガイドが行われ、初回の参加者は百五十人を超えるほどの大人気でした。園内に再現された屋敷内の井戸や、屋敷の周りを囲んでいた堀を見ながら、説明に耳を傾けます。建物の一部を平面的に示した建物跡では、その面影をたどっているかのよう。「地元こんな歴史の深い所があるとは知らなかった」「千年以上前はすごい場所だったんだ」と、ガ

イドに参加した皆さん。発掘調査の出土品を展示している同校内の資料展示室では、中国製の天目茶わんなどに見入っている参加者がたくさんいました。

公園には、「河越茶」に近い品種の苗木が植えられました。ここで茶摘みを楽しめる日が来るかもしれませんね。



上戸小学校6年生全員による息の合った演奏

高階北小PTAが文部科学大臣表彰



11月18日、高階北小学校PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。家庭での規律ある生活や、しつけの重要性を書いた「家庭教育宣言」を独自に作成し、活用。また、子供たちの日常生活を父親の立場からサポートする「おやじの会」も組織しました。加えて、5年間高い評価を受け続けている広報活動が、今回の受賞の決め手になったようです。会長の横田さんと役員の方々は「今後も子供たちの笑顔を増やすための活動をしていきたいですね」と抱負を語っていました。



1,000人を超える参加者が一斉にスタート

スポーツの秋を満喫



力を合わせて「オーエス！」

21種類のスポーツに体験参加できる、生涯スポーツフェスティバルが川越運動公園で開催されました。秋空の下、陸上競技場では、5kmのウォーキングに親子連れなど1,000人以上が参加。景色を楽しみながらそれぞれのペースでゴールを目指しました。体育館で行われた綱引きでは、小中学生、一般の部を合わせ56組チームが熱戦を繰り広げ、体育館は熱気に包まれました。

最先端のロボットが登場

10月31日～11月1日の2日間、伊佐沼公園周辺で開催された今年の産業博覧会。延べ22,000人の人出でにぎわいました。

農業ふれあいセンターの多目的ホールには様々なロボットが集合。なかでも注目を集めたのは福祉用ロボットスーツ。



動かそうという意思のままに動く、ロボットスーツ

脳から出る神経信号を皮膚表面のセンサーで感知し、歩行を補助するもの。参加者は、ロボットスーツを付けた実演者のスムーズな動きに目を丸くしていました。

地元芸能保存会がお祝い

11月14日の河越館跡史跡公園竣工式で、上戸芸能保存会による「京姫哀歌」が披露されました。作詞・作曲は、地元の「うわど家しょう太」さん。河越氏の盛衰を、7番まである歌詞の中で表現しています。タイトルの京姫とは、みなもとのよしつね源義経に嫁いだ河越重頼のしげより



河越館や上戸日枝神社も歌詞に登場します

娘のことだそうです。当日は、総勢約40人が男踊り、女踊り、それぞれの衣装を身にまとい、ステージに登場。史跡公園のオープンをお祝いしました。